

麻里府公民館区域内的遺跡を紹介します

☎ 社会教育課 ☎ 25-3185



No	古墳・遺跡名	時代・特徴など
1	塚原遺跡	旧麻里府小学校の北約500m、600mの位置に所在。須恵器が出土。 塚原という地名から、この遺跡付近に古墳群もしくは中世〜近世墓があるのではないかと考えられる。
2	馬島 要害山城跡	馬島の北寄り海抜標高109mの要害山に所在する中世の城跡。『防長風土注進案』には、江戸時代に殿様の往来などがあるとき、別府の梶取山からのろし火を受け、佐合島（平生町）の遠見山へのろし火を渡り継いだとの記録がある。
3	馬島東浦A遺跡	縄文時代〜近世
4	馬島東浦B遺跡	古墳時代〜近世
5	馬島西浦A遺跡	古墳時代〜近世
6	馬島西浦B遺跡	古墳時代〜近世
7	馬島 大浦浜塩田跡	江戸時代に、毛利藩の四白政策（米・塩・紙・蠟）の一つである塩の生産が藩内で行われたが、当地でもその痕跡が残っている。

現在、麻里府公民館区域内では「遺跡」が7ヶ所確認され、時代も、縄文〜江戸時代とさまざまです。
区域内での踏査（※）はほとんど行われていませんが、現在、行っている発掘などが終了した後に調査する予定です。
※踏査とは、エリアを決め、実際に現地を歩いて遺物や遺跡の確認をすることです。

遺跡発掘現場レポート

平成29年度に行われた調査のうち、麻郷奥所在の三坪遺跡の発掘調査についてレポートします。

■三坪遺跡

三坪遺跡は、麻郷奥奈良地区にあります。

ほ場整備事業の実施により削平されてしまうなど、影響の大きな場所の発掘調査を行いました。この調査の結果、『竪穴建物』、『掘立柱建物』など多くの遺構が確認されました。調査地から発見された遺物は、『縄文・弥生土器』、『石器類』、別個体ですが、町内4例目となる『分銅型土製品』の顔と胴体の部分が発見されました。



これらのことから、この遺跡は、少なくとも縄文時代晩期〜中世ごろに一定の集落が形成されていた可能性があることが分かりました。